

文豪

手紙の文豪

文豪とつながる

演劇

の文豪

文豪の文豪



AAフリーショナルシアター2014 ～大阪と愛知 vol.1～
 2014年7月18日(金)～8月3日(日)
 愛知県芸術劇場小ホール
 日本演出者協会東海ブロック
 プロデュース 『ここころ』
 大阪現代舞台芸術協会
 プロデュース 『坊っちゃん』

■企画・制作 公益財団法人愛知県文化振興事業団
 NPO法人大阪現代舞台芸術協会
 日本演出者協会東海ブロック

■主催 愛知県芸術劇場
 (公益財団法人愛知県文化振興事業団)

『ところ』

〔愛知県文化振興事業団 第331回公演〕

★印の回は、公演終了後に
ポスト・パフォーマンス・トークあり!!

ゲスト:『坊っちゃん』公演の両演出者

泉寛介 (baghdad café)、くるみざわしん (光の領地)
当公演のチケットまたは半券をお持ちの方はご入場頂けます。
ただし、満席時はお断りする場合がございます。

入場料金 <日時指定・全自由席>

前売一般 2,800円 (当日3,000円)

前売学生 1,800円 (当日2,000円)

(学生券は愛知芸術文化センター内プレイガイドのみ取扱い。要学生証提示)

◎愛知芸術文化センター内プレイガイド(地下2階)

☎052-972-0430 (月曜定休 祝日・振替休日の場合は翌日振替)

◎チケットぴあ ☎0570-02-9999

(Pコード: 436-234)

〔サークルK・サンクス、セブン-イレブンでもお買い求め頂けます〕

※受付・入場整理券の発行・当日券の販売は開演の1時間前。開場は開演の30分前。
(入場整理券番号にご入場頂けます)

※未就学児の入場はお断りいたします。

※出演者、公演内容、料金、チケット発売時期などは事情によって変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※料金はすべて税込。

日本演出者協会東海ブロック

日本演出者協会は、日本における唯一の専門的舞台演出家の協会として1960年に設立されました。現在の会員数は600余。愛知、岐阜、静岡、三重で構成する東海ブロックは60人の在籍です。主な活動として「演劇大学」、「日本の近代戯曲研修セミナー」、「国際交流セミナー」などを開催しています。また、当協会から名古屋のオイスターズを韓国演劇祭に派遣したり、ロシア、ポーランド、韓国の演出家を愛知に招聘したりするなど、国際活動にも取り組んでいます。

愛知と地方を繋いで良質な演劇公演を紹介し、併せて両地の交流を促進する「AAFリージョナル・シアターシリーズ」。

今回は、近松門左衛門や井原西鶴の時代から連続と続く芸術芸事の街大阪と愛知が手を組み、

我が国が誇る偉大な文豪である夏目漱石の作品を取り上げていきます。

今回の特色は、「一つの文学作品(原作)を、二人の演出家が、違う上演作品として連続上演する」というものです。

観客は一枚のチケットで、構成演出の異なる二つの上演作品を連続して観る事ができ、その違いを味わい楽しむ事ができます。

大阪は「大阪現代舞台芸術協会」が『坊っちゃん』を、対する愛知は「日本演出者協会東海ブロック」が『ところ』という、

現在まで高い人気を誇る不朽の名作を原作とします。

大阪と愛知それぞれで、二人の演出家が文豪の名作の演劇化に挑む今回のリージョナル・シアター。

名作文学がこんな舞台作品になるとは!? 構成演出の違いでここまで違って見えるとは!?

こんな演劇観たことない!! 驚愕の公演を目撃するのはあなた自身です!!!

愛知

7月18日(金) 19時開演

19日(土) 14時開演 / 18時開演★

20日(日) 14時開演

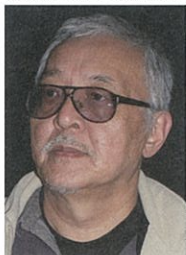
日本演出者協会東海ブロックプロデューサー / 原作: 夏目漱石
かしましげみつ演出作品と菊本健郎演出作品を連続上演
※各1時間程度の作品を、小休憩をはさみ連続上演して公演とします。



菊本健郎

「ときめく『ところ』」

30年以上芝居の演出を続けてきました。少しは人に名前も覚えてもらい、過分なお褒めの言葉も頂戴しました。でも、この所落ち着かない日々が続いています。もともとそれまでの演劇に物足りなさを感じて、この世界に足を踏み入れた筈なのに、今や自分の作品こそが、その物足りない演劇の典型になっているのかも知れない、そんな焦燥感に苛まれているからです。今回、新進気鋭のかしまさんと漱石の競作で、ひょっとしたらその答えが見つかるかも知れない、そんな予感がしています。



構成演出 菊本健郎 (NEO企画/劇作家・演出家)

学生時代のアルバイトを通して舞台の面白さを知り、プロのスタッフとしてパレエ、コンサート、日舞、イベントなど各種ステージの裏方業務を経験。30歳を過ぎてから演劇にひきこまれ、舞台劇の脚本・演出を仕事の中心として今日に至る。劇団名古屋を経て、総合劇集団俳優館創立に参加。ミュージカルはじめ多くの作品に携わるが事情により退団。現在は演劇工房NEO企画主宰。名古屋演劇ヘンクラブ賞、名古屋芸術奨励賞、松原英治・若尾正也記念演劇賞などを受賞。

出演: 佐藤 融 (和泉流狂言方)、長尾武典 (NEO企画)、長谷川千種、室奈美江 (NEO企画)、山内庸平

【愛知スタッフ】舞台監督: 柴田頼克 (電光石火一発座・かすがい創造庫) / 照明: 村瀬満佐夫 / 音響: 椎名KANS (ガレッジ) / 舞台美術: 岡田保 (演劇組織KIMYO) / 企画・制作: 木村繁、平塚直隆 (日本演出者協会東海ブロック企画委員)



かしましげみつ

「ぼくとわたしはちがうのに」

昔からぼくは、物語にふれると、そのなかにじぶんをさがしてしまうくせがある。じぶんとは関係のない、赤の他人のおはなし。なのにどうしてだろう、勝手にじぶんを重ねて、ぼくそ笑んだり憂えたりする。それはときに、年も違えば時代も違う、なんの役にも立ちそうにない身の上げなしたりする。他人が見てる景色を、じぶんが全く同じように見るってことなんてできないのに。



構成演出 かしましげみつ (孤独部/劇作家・演出家・俳優)

1988年2月生まれ。愛知県刈谷市出身、名古屋在住。えんげきユニット「孤独部」を主宰し、劇場・ライブハウス・ギャラリーなど様々な場所で精力的に活動。バンド形態による作品『中学生』、ひとり芝居連作『drawing:』をはじめ、二年間で50を超える作品を発表。2014年1月、愛知県芸術劇場小ホールでの単独公演にて、ひとり芝居『さいごのうた』を上演。さみしがりの、ひとり好き。

出演: 久具巨林、琴塚吉太郎、芝原啓成 (妄烈キネマレコード)、舟橋孝裕 (ほか)

AICHI



『ところ』原作 あらすじ (1914年(大正3年)『ところ』として発表)

「私」は学生時代に鎌倉で「先生」と知り合
い、月に数度は先生を訪ねるほどになっ
ていた。しかし先生は私と距離を置いていた。
先生は毎月雑司ヶ谷のKの墓へ出かける
が、その訳は話してくれない。奥さんとは
仲が良いものの、夫婦の間にさへ距離を置
いているように思える。他人を信用でき
ず、自分自身さえも信用できない先生。
その後、帰省した私のもとに、先生から
手紙が届いた。それは先生の遺書で、先生
は学生時代、美しいお嬢さんのいる自分
の下宿に、親友のKを同居させたこと云々。
そしてお嬢さんに恋したKは自殺した。
そのお嬢さんが先生の奥さんである。「私が
死んだあとでも、妻が生きている以上は、
あなた限りに打ち明けられた私の秘密と
して、すべてを腹の中にしてしまっておい
て下さい」手紙はそう締め括られた。

◎「大阪と愛知」(2団体) セット券

2団体 (1団体1公演) を観劇できる
お得なセット券をご用意しました。

前売一般合計5,600円が、なんと5,000円!!

愛知芸術文化センター内プレイガイドのみ取扱い
(前売のみ、枚数限定)
5月2日(金)から、「こころ」公演の前売終了日(7月17日(木))まで販売。

O
S
A
K
A

NPO 法人大阪現代舞台芸術協会

NPO法人大阪現代舞台芸術協会(愛称DIVE)は1997年に大阪府下で公演活動を行っている舞台表現者たちによって設立された組織です。2005年にNPO法人の認定を受け、積極的に事業を行っています。近年は、09年に精華小劇場にて『中島陸郎を演劇する』(脚本=内藤裕敬、深津篤史、樋口美友喜、棚瀬美幸/演出=キタモトマサヤ)や11年にメシアターにて『オダサク、わが友』(作=北村想/演出=深津篤史/12年にAI・HALLにて再演)などプロデュース公演も行い、阪神間の演劇人同士のネットワーク構築や創造環境の整備に力を注いでいます。

『坊っちゃん』原作
あらすじ
(2006年明治39年)坊っちゃんとして発表
親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている「坊っちゃん」は母に死なれ、父に死なれ、兄と遺産を分けて縁を切り、数学教師になって四国の松山の中学に赴任する。身内と呼べるのは下女の清という老婆だけ。「狸」「赤シャツ」「のたいこ」「うらなり」「山嵐」と同僚教師にあだ名をつけ、生徒のからかいに真っ向からぶつかって、大騒動を起こすが、一矢を報いて東京へ帰る。世間を知らない「坊っちゃん」が世間に挑む痛快小説。

『坊っちゃん』

大阪

8月11日(金) 19時開演

2日(土) 14時開演 / 18時開演

3日(日) 14時開演

大阪現代舞台芸術協会プロデュース / 原作：夏目漱石
泉演出作品とくるみざわしん演出作品を連続上演
※各1時間程度の作品を、小休憩をはさみ連続上演して二公演とします。



くるみざわしん (光の領地 / うどん屋) より



泉寛介 (baghdad café / talk about her life) より

「『坊っちゃん』を再構築」

何を讀んだらいいのか。3.11の後、小説に手が伸びない。数ヶ月してようやく手にしたのが漱石だった。帝大に合格し上京する三郎の迂闊な言葉「これからは日本もだんだん発展するでしょう」に「滅びるね」と返し、「どらわれちゃだめだ。いくら日本のために思ったって鼠眉の引き倒しになるばかりだ」と呟いてみせた漱石を信じてみたい。今回は『坊っちゃん』という石のつぶてを拾って投げてみる。まっすぐな変化球で、こころのど真ん中へ。



くるみざわしん (光の領地 / 演出家・劇作家)

1966年、長野県生まれ。1984年から88年まで名古屋に住み、演劇を知る。その後、役者から劇作家に転向し、北区つかこうへい劇団戯曲作法塾、伊丹想流私塾に入塾。2007年『うどん屋』でシアトロ新人戯曲賞佳作を受賞。同作を東京、大阪で上演。近年はエイチエムピー・シアターカンパニーの公演に作家・ドラマツルクとして参加。2009年から詩人としても活動し、伊東静雄賞佳作、部落解放文学賞等を受賞。

出演：増田雄(モンゴルズ)、小石久美子(劇団大阪)、岡村宏規

「文豪コネクション」——この企画、焦点は「坊っちゃん」を再構築する切り口、でしょうか。興味は以下の3点。①清。漱石の幼少期との関連。②漱石の倫理基準。③漱石の表現力。知らぬ間に当時の夏目漱石が演劇っぽく舞台上に上っていれば僕はとてもうれしいのです。

いずみひろすけ
構成演出 泉寛介 (baghdad café / 演出家・劇作家・俳優)
1980年生まれ。関西学院大学文学部哲学科卒業。2003年にbaghdad caféを旗揚げし、以降全ての作品の脚本・演出を担当。非日常な世界観や劇構成と、日常の会話や身体とをミクスチャーする演劇をよくやる。ロクソドンタフェスティバル入賞。space × drama2009で優秀劇団に選出。大阪セレクション2007・2009参加、2012年、AI・HALL次世代応援企画break a leg参加。第3回近松賞優秀賞受賞。一人芝居フェスティバルINDEPENDENTにて演出作品が札幌・仙台・津・長崎など多数地方へ招聘。

出演：一明一人、一瀬尚代 (baghdad café)、杉原公輔(匿名劇壇)

【大阪スタッフ】 舞台監督：塚本修(CQ) / 照明：池辺茜 / 音響：八木進 (baghdad café)
企画・制作：笠井友仁 土橋淳志 (大阪現代舞台芸術協会企画委員)

★印の回は、公演終了後に
ポスト・パフォーマンス・トークあり!!
ゲスト：【『こころ』公演の両演出者】
かしやましげみつ(孤独部)
菊本健郎(NEO企画)
当公演のチケットまたは半券をお持ちの方はご入場頂けます。
ただし、満席時はお断りする場合がございます。

入場料金 <日時指定・全自由席>
前売一般 2,800円 (当日3,000円)
前売学生 1,800円 (当日2,000円)
(学生券は愛知芸術文化センター内プレイガイドでのみ取扱い。要学生証提示)

チケット取扱い
◎愛知芸術文化センター内プレイガイド(地下2階) 月曜定休(祝日・振替休日の場合は翌日振替)
☎052-972-0430
◎チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード:436-235)
【サークルK・サンクス、セブンイレブンでもお買い求め頂けます】

※受付・入場整理券の発行・当日券の販売は開演の1時間前。開場は開演の30分前。(入場整理番号順にご入場頂きます)
※未就学児の入場はお断りいたします。
※出演者、公演内容、料金、チケット発売時期などは事情によって変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
※料金はすべて税込。

大阪現代舞台芸術協会プロデュース 『坊っちゃん』伊丹公演情報

日程…平成26年7月4日(金)～6日(日)

会場…A.I.HALL(伊丹市立演劇ホール)
兵庫県伊丹市伊丹2-1-4 <http://ahall.com/>
※日時・料金等の詳細は大阪現代舞台芸術協会の
チラシ・WEB等にて発表

関連企画《～大阪と愛知の新たな出会いを求めて～》 大阪と愛知、演出家4名による合同ワークショップ

大阪・愛知、それぞれを拠点に活動する演出家によるワークショップです。
教える／教えられるという感覚ではなく、“一緒に稽古に参加する”感覚でお越しください。また異なる演出家の稽古がどんなものか気になる演出家や制作者の方の見学も大歓迎！ワークショップが終わったあとには、総評の場も設けて、意見交換も行います。大阪と愛知、次代の演劇シーンを担う方のご参加をお待ちしております！！

- ◎ 講師 【大阪】泉寛介(baghdad café) / くるみざわしん(光の領地)
【愛知】丸知亜矢(ちあとら〜) / 吉田光佑(room16)
- ◎ 日程 2014年5月
17日(土) ①13:00～16:00 / ②17:00～20:00
18日(日) ③10:00～13:00 / ④14:00～17:00 / 総評17:30～18:30
※①=丸知、②=泉、③=吉田、④=くるみざわ…がそれぞれ講師を担当
- ◎ 会場 アートスペース E・F (名古屋市東区東桜一丁目13番2号)
愛知芸術文化センター12階
- ◎ 参加費 1講座1,500円 / 2講座2,500円 / 3講座3,000円 / 4講座3,500円
見学1講座につき500円
※参加費は、当日会場の受付にてお支払い頂きます(受付は開始15分前から)。
- ◎ 定員 各講座参加・見学共に15名(先着順) ※定員になり次第、受付を終了します。
- ◎ 申込締切 5月9日(金)【必着】
- ◎ 申込方法 Eメール、FAXのいずれかで、次の項目を明記のうえ、
下記申込先へお申し込みください。
①参加を希望する回(A～D)または、見学を希望する回(A～D)、
②氏名(ふりがな)、③年齢、④電話番号(携帯電話など昼間に連絡がとれる番号)
- ◎ 申込先: 愛知県文化振興事業団「演劇ワークショップ関係」係
メール aaf01@aac.pref.aichi.jp FAX 052-971-5646
※定員を越えた場合など、ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。
※定員に達しない場合は、応募期間を延長します。
※お預かりした個人情報は法令の定めに従い、適正に取扱います。



丸知亜矢演出作品
名取事務所「不思議なバーバ」



吉田光佑演出作品
room16 Space Wonder Boys City5

ワークショップ参加者の中から、「夏目漱石作品の朗読イベント」へのご出演依頼をさせていただく場合がございます(出演を希望する方に限り)。

※「夏目漱石作品の朗読イベント」について(予定)
日時:6月21日(土) ①回目…午後1時開演 ②回目…午後4時開演
場所:愛知芸術文化センターフォーラムII(地下2階) / 料金:無料

・お問い合わせ

財団法人 愛知県文化振興事業団

☎ 052 (971) 5609 FAX 052 (971) 5646

<http://www.aac.pref.aichi.jp/sinkou/>



愛知県芸術劇場小ホール

【愛知芸術文化センター 地下1階】

TEL 052-971-5511 (愛知芸術文化センター・代表)

<http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/>

地下鉄 東山線/名城線「栄」駅下車 徒歩5分

(東山線改札口より) 4A出口 側・オアシス21地下連絡通路経由 または2F連絡橋経由)

宣伝美術:清水俊洋 / 企画・制作統括:長瀬武彦(愛知文化振興事業団)